

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



クレアソウルでの活動を通して

長崎県文化観光国際部国際課 東アジア班係長 朝長 浩志

国際色豊かな長崎県

私が勤務している長崎県は、大陸と近いことから古くから韓国や中国と交流が盛んに行われてきました。国が閉ざされていた江戸時代においても、長崎は出島を通じてヨーロッパと交易を行っていたほか、中国船も来航し、唐人屋敷には数多くの中国人が暮らしていました。また、対馬は、江戸幕府から朝鮮との外交を任されるなど、朝鮮国との交流・交易を通して栄えてきたところ です。

現在の長崎には、孔子廟や中華街、唐寺などの街並みや旧正月をお祝いするランタンフェスティバルなどのイベントなどに異国の文化や風習が溶け込んだものが数多くあります。また、対馬市では朝鮮通信使行列再現が行われているほか、韓国からは年間約 21 万人もの観光客が対馬を訪れています。

クレアでの業務

さて、クレアには最初の 1 年間の交流親善課勤務を経て、2 年目からソウル事務所に赴任しました。クレアソウルでは、いくつかの業務に従事していましたが、なかでも日本の特産品の PR に関する仕事が一番思い出に残っています。

私がクレアソウルに赴任した年に、観光チームと物産チームが設けられ、私は物産チームの担当となりました。

物産チームとなった最初は何をどうしたら良いかわからず手探りの状態でしたが、当時、韓国内で人気のあった日本酒に注目して取り組むこととしました。韓国内の複数の酒類輸入業者や大手百貨店のバイヤーなどから流通事情などをお聞きしていくと、日本酒を韓国で販売する場合、

関税や酒税、教育税などが付加されるため、日本国内での販売価格の約 5~6 倍になることがわかりました。そのため、飲食店などで提供されている日本酒のほとんどは安いパック酒であることがわかりました。(※高所得者層には、日本国内でも有名な日本酒が人気。)



クレアソウルと日本の自治体との共催で開催した物産展の様子 (平成 22 年 3 月)

このようなことから、日本各地にある日本酒を PR しようとクレア主催で試飲会を開催しました。試飲会には日本国内から 41 銘柄の日本酒を出品いただいたほか、蔵元 3 社の社長さんなどが来韓され、直接、輸入業者などに PR を行われました。この結果、2 社のマッチングが成立いたしました。その後もこの試飲会で関係を築いた百貨店とともに日本の地域の物産展を開催いたしました。

これらの取り組みは分からないことが多く、大変なこともたくさんありましたが、良い経験ができました。前述のとおり、長崎県は大変国際色豊かなところ です。クレアでの経験を業務にも活かしていきたいと思 います。



試飲会後に開催した韓国の大手百貨店と日本酒蔵元との意見交換会 (平成 21 年 4 月)

プロフィール

- 略歴：
 - 平成 9 年 4 月 長崎県入庁
 - 平成 15 年 4 月 対馬支庁 地域振興課 主事
 - 平成 17 年 4 月 韓国・延世大学校へ語学研修派遣
 - 平成 18 年 4 月 国際課 平和推進・国際企画班 主任主事
 - 平成 19 年 4 月 自治体国際化協会 交流親善課 主査
 - 平成 20 年 4 月 // ソウル事務所 所長補佐
 - 平成 22 年 4 月 国際課 国際交流班 主任主事
 - 平成 26 年 4 月 アジア・国際政策課 係長
 - 平成 27 年 4 月 国際課 東アジア班 係長